



日ごろ何気なく使っている水。
生活するためには欠かせないライフラインのひとつですね。
安平町に住む私たちの生活・仕事に必要な水が、どのような
施設で管理され、どのくらいの経費がかかっているか、今月
号から3回にわたって「安平町の水道」について紹介します。

安平町の水道の現状

安平町には、早来地区簡易水道、追分本町地区簡易水道、明春辺地区簡易水道の「三つの町が経営する水道」と、追分地区飲雑用水道、早来地区雑用水道の「二つの任意組合が運営する水道」、さらに、富岡の臨空工業団地だけに給水する「富岡地区専用水道」があります。町では、追分地区の水道施設の老朽化に伴い、追分地区の水道施設整備を計画していることから、安平町住民参画推進条例第7条の規程に基づく町民参画手続き、その計画内容を町民の皆さんにお知らせし、ご意見を伺いたいと考えています。

安平町の水道は、給水する区域に応じて次のように整備されていますが、水道未普及地域も多くあり、その解消が課題となっています。



◆早来地区の水道

早来地区 簡易水道	[計画給水人口 5,000 人 / 1 日最大給水量 1,900 m ³ ・昭和 51 年度建設] ・給水区域：臨空工業団地、早来瑞穂・緑丘・守田・源武の一部を除く旧早来町の行政区域。 ・河川表流水を水源とする北進浄水場（能力 1,000 m ³ /日）と地下水を水源とする富岡浄水場（能力 900 m ³ /日）で水道水を作っています。※富岡浄水場は井戸の揚水量が減少しているのが課題
早来地区 雑用水道	[1 日最大給水量 480 m ³ ・昭和 47 年国営農地開発事業により建設] ・給水区域：遠浅、早来富岡の一部 ・任意組合から町が管理受託していますが、施設の老朽化に伴い、平成 29 年度までに早来地区簡易水道からの給水に切り替え、施設は廃止する予定。

◆追分地区の水道

追分本町地区 簡易水道	[計画給水人口 3,820 人 / 1 日最大給水量 1,300 m ³ ・昭和 53 年度建設] ・給水区域：追分市街のほか、追分緑が丘・豊栄・弥生の一部。 ・河川表流水を水源とする追分本町浄水場（能力 1,300 m ³ /日）で水道水を作っていますが、建設時から浄水処理における基幹的施設の改良がなされていないことから、融雪期や降雨時等に浄水処理が困難です。
明春辺地区 簡易水道	[計画給水人口 130 人 / 1 日最大給水量 170 m ³ ・平成 15 年度] ・給水区域：追分弥生、追分春日の一部 ・地下水を水源とする明春辺浄水場（能力 170 m ³ /日）で水道水を作っています。原水中に鉄・マンガンが多く含まれており、浄水処理に経費を要する施設です。
追分地区 飲雑用水道	[給水人口 235 人 / 1 日最大給水量 248 m ³ ・昭和 48 年国営農地開発事業により建設] ・給水区域：追分美園・向陽・春日、追分旭の一部 ・飲雑用水道浄水場（能力 248 m ³ /日）で水道水を作っています。浄水処理の方法は、原水水質が良好な場合に用いられる緩速ろ過方式で、融雪期や降雨時等に浄水処理に課題があります。

平成 27 年 4 月 1 日から、追分地区の二つの簡易水道と飲雑用水道を統合して、「追分地区簡易水道」としてはいますが、各施設はそれぞれに運転しています。